

みよし議会だより

第117号

2018年11月1日

発行／みよし市議会

編集／議会広報広聴特別委員会

さすな

30年9月定例会報告、議決結果……………	P2～P3
常任委員会報告……………	P4～P6
14人が市政を問う（一般質問）……………	P7～P13
常任委員会活動報告……………	P14
議会運営委員会 地域交通特別委員会……………	P15
研修会を実施……………	P16

目

次

■ みよしの彫刻：わのかたち
（三好公園陸上競技場西北）



今年 は 猛 暑 の 夏 と な り 、 各 地 で 小 中 学 校 の 冷 房 設 置 の 状 況 が 話 題 と な り 、 新 聞 各 紙 が 普 通 教 室 の 設 置 率 を 紹 介 し て い ま し た 。 み よ し 市 は す で に 普 通 教 室 へ の 空 調 設 備 は 完 了 し 、 今 年 は 音 楽 室 等 特 別 教 室 へ の 設 置 と 、 一 歩 早 く 進 め て お り ま す 。 ま た 、 高 齢 者 向 け の 施 策 と し て 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー を 3 地 区 に 拡 充 し 、 地 区 に 合 っ た 施 策 を 進 め て い ま す 。

※ 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー と は す べ て の 高 齢 者 と そ の 家 族 を サ ポ ー ト し て く れ る 施 設 で す 。

決算認定トピックス

平成 30 年 9 月 定例会 議決結果

議案番号等	議 案 名	賛 否
議案第 54 号	平成 30 年度一般会計補正予算（第 2 号）	全員賛成
議案第 55 号	平成 30 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 56 号	平成 30 年度下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成
議案第 57 号	平成 30 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 58 号	平成 30 年度介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 59 号	物品の買入れについて（さんさんバス車両）	全員賛成
同意第 4 号	教育委員会の委員の選任について	賛成多数
認定第 1 号	平成 29 年度一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 2 号	平成 29 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 3 号	平成 29 年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第 4 号	平成 29 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第 5 号	平成 29 年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 6 号	平成 29 年度やすらぎ霊園特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第 7 号	平成 29 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 8 号	平成 29 年度病院事業会計決算認定について	賛成多数
報告第 5 号	平成 29 年度決算に基づく健全化判断比率等の報告について	――
報告第 6 号	専決処分の報告について	――

※各議員の賛否についてはホームページで確認できます。



賛否結果

平成30年第3回定例会（9月議会）報告

9月議会は9月6日（木）～27日（木）の22日間の会期で開催。30年度補正予算5件、物品の買入れ1件、同意1件、決算認定8件、報告2件が審議されました。主な内容を報告します。（千円以下切り捨て）

29年度決算認定

一般会計

国民健康保険特別会計

下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

介護保険特別会計

やすらぎ霊園特別会計

後期高齢者医療特別会計

病院事業会計

一般会計補正予算

歳入

歳入歳出に14億8615万円を追加し予算総額253億9615万円とします。主なものは次の通りです。

歳入

国庫支出金 508万円

児童扶養手当負担金 167万円

子ども子育て支援整備交付金 341万円

県支出金 147万円

愛知子ども子育て支援整備補助金 67万円

産地パワーアップ事業補助金 80万円

財産収入

財産運用収入 8022万円

財産売却収入 7320万円

歳出

三好商業振興株（アイ・モール三好）を売り払った収入です。

繰入金 8151万円

繰越金 前年度繰越金 13億1758万円

三好丘旭地区交通対策事業 700万円

放課後児童健全育成事業 1485万円

三吉小・中部小の児童クラブを整備します。

道路修繕事業 4460万円

里道整備事業 280万円

準用河川改修事業 4200万円

都市計画道路整備事業 1億3550万円

都市計画道路平池天王線・青木線の整備を進めていく補正です。

都市公園整備事業（森宮公園駐車場整備工事） 1600万円

児童生徒防犯対策事業 486万円

子供の安全を確保するため、全小學生に防犯ブザーを支給する事業です。

全小中学校防犯カメラ設置事業 1320万円

子どもたちの安心と学校の安全を確保するため、中学校3校（三好・北・南）、小学校5校（中部・南部・三吉・三好丘・緑丘）に防犯カメラを設置します。これにより全小中学校に設置されます。

議案第59号 さんさんバス購入 4071万円

同意

教育委員会委員の選任

原口百合子氏を選任いたしました。（任期30年10月1日～34年9月30日）

報告

監査委員報告

監査委員から29年度一般会計の決算について、健全化判断基準・資金不足比率を審査し、いずれも良好な状態にあり、本市の財政の健全性は高いものと報告がありました。



◎防犯ブザー



文教厚生委員会報告

委員長：阿部 憲明

主な審査内容

30年度一般会計補正予算

Q 保健センター擁壁改修工事が補正予算計上されているが、内容はどのようなか。

A 現状の擁壁は倒壊の危険が有る為撤去し、新たにL字型の擁壁を設置します。

Q 学校の防犯カメラはどこに、どのような型式のものを設置するのか。

A 学校敷地内の入口となる正門付近などの壁面に設置します。ネット型ではなく、職員室で確認するものです。

30年度介護保険特別会計補正予算

Q 積立金の補正をなぜこの時期にするのか。

A 29年度の決算が固まり、国、県、支払基金、市の法定負担の追加分を、剰余金として基金に積み立てることを考えています。

29年度一般会計歳入歳出決算認定



◎家族介護用品支給事業で配付する「おむつ」

Q 障がい者手帳の所持者と扶助費の受給者に差があるのはなぜか。

A 在宅心身障がい者扶助費の要件は、市内在住1年以上、前年の所得額が120万円以下、施設に入所していないなどの要件があり、手帳を持っていなくても支給対象にならない人も見えます。また、複数の障がいがある場合は障がいの程度が重い方でカウントします。

Q 家族介護用品支給事業で配付訪問した時の悩み相談はどのようなか。

A 委託先のあいちNPO市民ネットワークセンターが家族からのおむつ漏れ対策やおむつサイズ変更等の相談を受けています。こうした相談内容の報告を受け、市で対応しています。

Q こんにちは赤ちゃん訪問事業の対象世帯数と訪問世帯数の差は何か。

A 対象世帯数は620世帯で訪問世帯数は599世帯です。差の21世帯が未訪問で、里帰りや21件、長期の入院中が2件、転出が2件等です。

Q 子ども医療費支給事業費で近隣市町の状況は。

A 豊田市、日進市、豊明市、長久手市は本市と同様で中学校卒業までの入院、通院を無償化しています。東郷町は、高校卒業までを無償化しています。

Q 生活保護が増えているが、その要因は何か。

A 28年度から17世帯増えており、新規世帯は37世帯で、廃止世帯が20世帯です。新規のうち、17世帯は単身の高齢者で、11世帯は精神に障がいのある人がある世帯です。超高齢化や扶養義務意識の低下で要保護状態が増えています。

Q エネルギー教育推進教材購入費の内訳で放射能検知器があるが目的は。

A 放射能検知器24基、放射能を視覚的に見るための教材が16組です。中学校の理科の授業で放射能の正しい知識を教える必要があるために購入しました。



◎みよし市民病院

Q 市との将来的な病院について協議は行っているか。

A 最終的な判断は市になりますが、関係部局と協議ができる状況をつくるよう、病院で案を固めていきます。

Q 収入未済額、不納欠損額の原因は。

A 低給料、低賃金の労働者の方や、低所得世帯、多重債務者の収入の好転が見られないことが、主な原因と考えられます。

29年度国民健康保険特別会計決算認定

主な審査内容

30年度一般会計補正予算

Q 三好商業振興株式会社の株式売却益を商工業活性化基金に積み立てない理由は。

A 3月に一般財源から5千万円を積み立てましたので今回は積み立てず、将来的に商工業活性化補助金の財源とする予定です。

Q 市に寄付された里道についても行政区の1割負担が必要なのか。

A 里道は国の所有であったものを市に管理を移譲された経緯があり、みよし市では市道と区分して考えています。行政区要望については、1割の行政区負担をお願いし、緊急性があるものについては優先的に行っています。

Q 物品の買入れについて（さんさんバス車両）

Q バス車両の仕様と本体価格、またオプションとして装着した内容は。

A 仕様は、現在の車両と同等です。本体価格は2台で税別で2900万円

委員長：林 文夫

29年度一般会計歳入歳出決算認定

Q 市税の収入未済に対する対応は。

A 未納者には納税の督促、納税意識の希薄な方、ある程度収入があり未納となっている方には財産調査を行い、滞納処分を積極的に行っています。

Q 消費税増税後の歳入見込み額は。

A 一般財源に充当分と社会保障に充当分の額を算出、一般財源交付分は人口割と従事者割で、社会保障財源分は



◎さんさんバス

人口割で按分計算され交付されます。現在地方消費税が1・7パーセントで消費税増税後は2・2パーセントとなりますので、約15億円の交付金が見込まれます。

Q 自動車取得税交付金が前年度比で25パーセント増えている要因は。

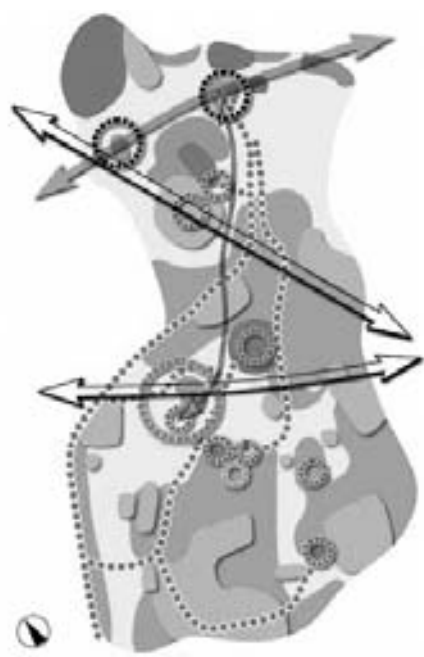
A エコカー減税の対象となる車種が減ったこと、減税の割合が引き下げられ、県税の収入が増加したことにより交付金が増えました。

Q 乗り合いタクシーが到着するまでに時間がかかると聞けが、利用者への意見収集を行っているか。

A 公共交通網形成計画の策定に向けアンケートによる利用者の意見収集を行う予定です。

Q 聴覚障害者向け文字表記の防災ラジオへの対応は。

A 現在の防災ラジオに文字の表記はありません。防災ラジオの文字表記については、今後検討してまいります。



◎土地利用構想図

Q 国際交流基金での事業内容と今後の予定は。

A コロンバス市との友好親善大使の受入事業と中学生の派遣事業です。今後は、市制施行10周年と友好提携25周年に併せて、新たに市民派遣等の実施を考えています。

Q 総合計画策定における地区のまちづくり懇談会での意見の反映は。

A 議員からの意見も踏まえ、基本構想（素案）の地域別構想の部分の一部修正し、第6回の総合計画審議会に諮り、さらにパブリックコメントで意見の募集を行います。



第3回定例会(9月議会)に14人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました

主な審査内容

30年度一般会計補正予算

経済建設委員会報告

委員長：渡邊 郁夫

Q 産地パワーアップ事業補助金において、雨避け用のハウスの設置に対する補助金とのことだが、イチジク栽培に関して、どれほどの効果があるのか。

A ハウスの設置により、雨天時のイチジクの破裂を防ぐものです。効果については十分あると判断しています。

Q 土地改良補助事業、県営防災ダム事業負担金(細口池地区)において、みよし市の負担割合が16パーセントと聞いているが、以前に保田ヶ池の耐震工事をした時は11パーセントだったと思うが違いは何か。

A 両方とも国の補助事業の「防災ため池事業」ですが、保田ヶ池は受益面積が70ヘクタール以上の大規模事業となり、補助率が55パーセント、細口池は受益面積が7ヘクタール以上の小規模の事業のため、50パーセントの補助率となります。

その差5パーセントが、市の負担率5パーセントの差となっています。



◎耐震工事予定の細口池

29年度一般会計歳入歳出決算認定

Q 児童遊園・児童遊園地遊具点検業者からの点検の報告と対応はどのようなか。

A 点検報告は市に提出され、修繕が必要な場合は行政区に知らせます。補助は児童遊園の場合は全て同じですが、1万円と1万円を超える部分の1割が行政区の負担となります。

Q 環境美化推進事業の、消耗品費85万円余はゴミ袋のみか。

A ゴミ袋のみです。内訳は可燃用、ゴミ袋3万6千枚、不燃用ゴミ袋1万6



◎不法投棄されたゴミの山

千枚です。市内一斉環境美化の日、環境美化ボランティア活動209件に対してゴミゼロ用ゴミ袋を渡しています。

Q 不法投棄防止対策事業の、パトロール内容は。

A 市内の重点箇所15箇所を中心に走行距離約50キロメートルのパトロールを行い、悪質な場合は、警察への届出その他の場合、市環境課で処理しています。

29年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 公営企業会計システム構築は平成29、30年度で行われているが、完了しているか。

A 29年度は主にシステムの構築です。30年度はシステム構築と企業会計導入への指導、条例案作成を行っており、現在も継続しています。

29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 公営企業への移行に伴い、農集排の決算には無いが、下水道会計と一緒に資産調査を行っているのか。

A 別々で発注するのではなく、下水道事業特別会計にて一括で行っています。



教育活動における取り組みについて職員相互の共通理解を図るためのものがあります。



小嶋 立夫
(新世紀の会・代表)

高校卒業までの医療費無料化

問 医療費無料化を高校卒業まで拡充した場合に要する費用は。

答 概算で入院が800万円、通院が7000万円、合計7800万円です。

問 医療費無料化を高校卒業まで拡大する考えは。

答 高校卒業までの医療費の無料化については、入院費の医療費が多額になるなど、保護者の経済的負担が大きくなり、支援が必要であると考え、18歳までの入院費に限り、平成31年度から自己負担分を無料化します。

地区拠点施設

問 きたよし地区拠点施設工事の今後の予定は。

答 平成30年8月22日現在、三好匠交流センターの上屋の解体は完了し、基礎の解体工事を進めております。

来年度の6月末には建設工事を完了



◎きたよし地区拠点施設完成予想図

し、7月に検査を受け、8月の開館を予定しています。

問 きたよし地区以外の地区における拠点施設整備の考え方は。

答 地区拠点施設整備基本構想に基づき、まずは、「みなよし」「なかよし」の順に整備します。次の「みなよし地区拠点施設」からの整備については、すでに各種の地域施設が配置されている点から、不足している機能を補完するのか、既存の地区施設を地域へ移管するのか、地域の意見の確認と調整をしながら市の財政状況、経済情勢を勘案して進めていきます。



日置 孝彦
(清翔クラブ・代表)

家庭教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト

問 市における教育福祉の連携や保護者への支援状況はどのようなか。

答 障害児の早期発見と各年齢層に応じた地域での生活を支援することを目的にみよし市障がい者自立支援協議会の中に児童部会を平成20年4月に設置しています。

学校管理職はコスト意識を磨く必要がある

問 職員会議、教師数40名、1時間実施、教員平均年収概算で時給4千円として16万円の人件費や光熱費も発生する。職員会議がその額に値するかどうか。教員のコスト意識を高めると、どのような教育効果の向上が期待できるか検討されているか。

答 職員会議は、学校運営が円滑に行われるように、校長の方針を周知させたり、所属職員の意見を聞いたりし、





第3回定例会(9月議会)に14人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました

問 老健(介護老人保健施設)と特養(介護老人福祉施設)の違いは。

答 老健、特養とも介護保険が適用される施設です。

老健は要介護1以上の方を対象に短期間に医学的管理課で介護、機能訓練を行い、利用者本人の自立、在宅復帰を目指す施設で、比較的短期間に入所者が入れ替わります。特養は要介護3以上の方を対象に、介護、日常生活支援を継続する施設で、比較的長期に亘る利用者が多く、中には施設内で最後を迎えられるケースもあります。市内には老健「三好老人保健施設」1施設、特養「特別養護老人ホーム安立荘」「特別養護老人ホームみよしの里」の2施設があります。

問 地域包括ケアシステムの実施に当たり、老健の必要性が高まると思われるが、市の考えは。



塚本 隆 敏
(みよし未来の会・代表)

特別養護老人ホーム「安立荘」



◎特別養護老人ホーム「安立荘」

答 老健は療養が必要な方、在宅復帰できるよう医療介護を提供する施設であり、地域包括ケアシステムの実現のためにも必要な施設と考えていますが32年度までを計画期間とする第7期介護保険事業計画においては需要と供給のバランスが取れている現状から直ちに介護老人保健施設を整備しなければならぬと考えておりません。

問 介護福祉施設のベッド数の増加が、西三河医療圏における既存病床数の算定に影響することはないか。

答 介護福祉施設の増床が算定に影響することはありません。



◎三好丘地区での街路樹の伐採

問 三好丘の市道三好ヶ丘駒場線と三好ヶ丘停車場線を中心に、街路樹が100本以上大量に伐採された。私の住む三好丘桜区長に聞いたところ、市から相談も無く市に要望も出していないという。今年は最高気温が40度を超す日もあり、木陰の有難さが分かる。市



加藤 芳 文
(清翔クラブ)

街路樹の大量伐採

あみだ堂行政区での公金の使い込み

民憲章に「緑と花を育て」とあるが、何故街路樹を大量に伐採したのか。

答 地元行政区や市民からの要望もあり、29年度から伐採を行ってきました。伐採箇所は道路交差点、カーブミラー、道路照明灯の周辺で、道路の見通しをよくするためです。

問 あみだ堂行政区で25年から27年に掛け、当時の会計Yが行政区運営資金等440万円を使い込んでいた。Yはその後50万円を返納したが、行政区と約束した350万円の支払いは怠っている。Yはこの事件において、預金通帳を他の役員に見せない、領収書は紛失した等の行為・発言をしている。市が公金使い込みを知ったのはいつか。また、公金の使途を調べる考えは。

答 28年2月に当時の区長と前区長から報告を受け、市民協働部で対応しました。行政区として相手と直接話し合いをしているため、適切な対応をするよう伝えました。民事訴訟、刑事事件とも区切りがついており、市として行政区に公金の使途の報告は求めません。



第3回定例会(9月議会)に14人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました



阿部 憲 明
(公明党・代表)

介護サービスの取り組み

問 本市の認知症初期集中支援チームの取り組み内容と成果は。

答 認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早期受診・早期対応に向け支援をしています。これまでにチームで関わったケースは14件で、その内、5件を医療に繋ぐことができました。

問 本市の介護保険料額の水準や介護サービス利用回数・自己負担額は。

答 本市の介護保険料は基準額の4,040円で全国の市の中で最も低い金額です。また、デイサービスを給付限度内で要介護2が利用可能回数は1カ月に最大25回(一日利用)です。自己負担額は、2割負担の方は39,075円、1割負担の方は半額、3割負担の方は1.5倍の金額です。



◎急傾斜地の土砂災害

問 急傾斜地の土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の対策状況は。

答 土砂災害特別警戒区域は、市内に16ヶ所あり、三好丘中学校区2ヶ所北中学校区14ヶ所です。愛知県が事業主体になり急傾斜地崩壊対策事業として計画的に実施しています。

問 市道の側溝の蓋の設置は市が実施すべきでは。

答 蓋の設置は、個人負担でお願いしています。但し、道路構造上の危険箇所や交通安全対策の配慮が必要な場所は、行政区要望を受けて蓋掛けの事業を本市が行います。



高木 和 彦
(市民フォーラム・代表)

子育て環境の充実に向けたまちづくり

問 「子育て情報ナビ・みよびよー」の情報内容と登録状況は。

答 子育て情報ナビみよびよーには、子育てに関する行事やイベント情報を検索・表示する「イベント情報」、市内の子育て関連施設が検索できる「子育て支援マップ」、市の子育て支援に関するサービスをまとめた「子育て支援サービス」、予防接種や健診の記録ができる「予防接種・身長体重記録」、子育ての困りごとに役立つ情報を掲載した「お役立ち情報」の機能があります。7月31日での登録件数は488件です。

問 「スマートフォンアプリ・みよびよー」と市ホームページとの連携は。

答 スマートフォン用として情報も簡潔にまとめているため、ホームページと連携が図れるよう、リンクを貼ったり、ホームページをご覧いただくようお知らせをしています。



◎「みよびよー！」



みよびよー！
QRコード

問 さらに良い情報アプリになるよう利用者の要望調査の考えは。

答 「みよびよー」には、アンケートの機能もありますので、今後、年1回程度の頻度で利用者向けにアンケートを実施し、機能や情報に対するニーズを把握し、内容を充実させていきたい。

問 スマートフォンアプリを他部署への活用の考えは。

答 今後、防災緊急情報、観光情報、イベント情報などの分野におけるスマートフォンアプリの活用についても市民の利便性などを踏まえ、情報化推進委員会で調査研究を行ないます。



第3回定例会(9月議会)に14人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました

問 防災行政無線と合せ情報伝達の強化の為、防災ラジコを必要とする市民に対し早急に有償配布する考えは。

答 本年も300台を有償配布しましたが配布予定を超える応募に対応する為、再度、希望者を募り来年度に希望する全ての方に防災ラジコを配布出来るように考えています。

問 土砂災害など地域の災害特性に対応した避難訓練の考えは。

答 土砂災害を想定し、土砂の流からの避難経路を示した図面を作成し行政区域へ配布しています。今後は対象の住民が土砂災害警戒区域等であることを認識し避難行動が出来る様に、対象住民への資料配布などで啓発します。また行政区に対し新たな方法で訓練が実施出来る様支援します。

急傾斜地崩壊対策と防災

林 文 夫
(新世紀の会)

協働による持続可能なまちづくり

問 市民活動で削減した事業費の使い方を市民が決め、他の課題解決等へ生かせる仕組みを構築すべきでは。

答 自発的に活動する市民の取組みで削減できた事業費を、市民が他の課題解決等に、削減した事業費分を活かす様な制度の構築は市民のまちづくりへの参加意識向上に有効と思われます。

他には、市民税の一定割合を財源とし公益事業を地域住民連携で行う。また、市の施策に反映させる提案型事業を実施する「市民予算枠」事業など先進的な事例もあり、今後調査研究をします。



©高浜市の会市民予算枠事業



災害対策

水 谷 正 邦
(青雲クラブ)

問 ペットについて本市の避難所運営マニュアルでは、同伴避難と記載されているが、内容は同行避難なので、書き方を改めるべきではないか。

答 原則、人とペットはそれぞれ決められた場所で生活する、同行避難を想定しています。マニュアルの記載を、同行避難に改めます。

問 特定保健指導の平成29年度の実施率が17・1%と低いが、市の認識と向上に向けた具体策は。

答 実施率は、16%前後の県平均を上回っています。本市では対象者全員に、保健師又は管理栄養士が電話し、指導への参加を推奨していますが、今後も対象者に特定保健指導の必要性を説明しながら、実施率向上に努めます。

セルフケアの推進

問 避難行動要支援者を個別計画に従って避難させるためには、実態把握と状況をシュミレーションした訓練が効果的と考えるが、実施する考えは。

答 個別計画に従っての避難訓練は、取り組みが進んでいない状況です。一部の地域では名簿を活用して民生委員が要支援者の自宅を訪問し、模擬訓練を実施しているところもあります。

問 避難所運営ゲーム(HUG)など実効性のある取り組みを実施しては。

答 防災リーダー養成講座や地区コミュニティの防災勉強会で避難所運営ゲームを実施しています。今後も実効性ある取り組みを進めていきます。



第3回定例会(9月議会)に14人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました

富 田 正
(浮き雲会)

防犯カメラの現状と取組み

問 補助事業についての設置台数は。

答 現時点の設置合計台数は123台です。

問 防犯カメラのネットワーク化についての一括管理するサーバーに設置される管理体制の見解は。

答 設置管理方式は、単体のスタンドアローン型と、ネットワーク型防犯カメラと、



◎ネットワーク型防犯カメラ

メラがあり、限度額の拡大措置を致しました。

今後もネットワーク化について推進出来るように補助率の見直しも検討してまいります。

入札における総合評価方式

問 一般競争入札の内容と、考えられるメリットは。

答 設計金額が130万円を超える工事、愛知電子共同システムによる電子入札により、最も価格の低い入札者を落札する方式です。メリットとしては、広範な入札参加機会の確保が出来る事です。

問 総合評価方式の種類と評価項目は。

答 価格だけで評価する落札方法とは異なり、品質を高める為の技術やノウハウ等、価格に加えて総合的な評価をする方式で、地域精進度、地域貢献度に関する評価項目等があります。

問 公契約条例についての考え方は。

答 愛知県が条例化し、県下でも条例化、又は条例化を検討する自治体もあり、引き続き、適切な施策を調査研究してまいります。

問 東名高速道路から豊田知立バイパス線を経由し(都)黒笹福谷線を通してルートの最短ルートとなるため、輸送路の機能強化には整備が必要な路線と考えています。豊田知立バイパス線より北側につきましては、既に予備設計まで済んでおり、今年度、豊田知

広域物資輸送拠点

福 安 金 之 助
(新世紀の会)

問 中部トラック総合研修センターに搬入出するトラック数は。

答 国からブッシュ型で中部トラック総合研修センターに送られてくる物資輸送は、10トトラックで換算すると1日最大で168台となります。この台数は、各市町の物流拠点施設へ輸送するトラックを含まない台数であるため、全体では、1日合計でおよそ340台の出入りが想定されます。

問 搬入出経路として、(都)黒笹福谷線の豊田知立線までの早期完成が必要ではないか。

問 健康寿命の最新5年間の推移は。

答 平成24年から28年までが最新5年間となります。平成24年は男性79・87歳、女性83・02歳、25年は男性79・83歳、女性83・52歳、26年は男性80・38歳、女性83・75歳、27年は男性80・81歳、女性84・32歳です。5年間で男性1・54歳、女性1・56歳延びています。

健康寿命



◎広域物資輸送拠点

立バイパス線から豊田知立線までの南側区間の道路予備設計を実施する予定であり、早期完成に向けて事業を推進してまいります。



第3回定例会(9月議会)に14人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました

問 不育症について本市では、どのような認識か。気軽に相談できる窓口体制の充実が必要です。周知啓発をどのように行っているか。

答 不育症については、現在のところ、その大半が原因不明であり、治療方法も確立されていませんが、今後少子化対策を進めるうえで、対応を考えていかなければならない問題の一つであると考えています。市民から不育症に関する相談や問い合わせがあった場合は、愛知県が不妊・不育専門相談窓口として設置している「愛知県不妊・不育専門相談センター」の、開催日時や連絡先等を案内しています。市ホームページでもご紹介させていただいています。

問 不育症の方の検査や治療の多くが保険適用されていません。患者支援として経済的負担を図り治療を受けやすくする不育症の治療費助成制度につい



青木直人
(公明党)

不育症の周知や患者支援の推進



第3回定例会(9月議会)に14人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました



広瀬裕久
(新世紀の会)

防災・減災

問 南海トラフでの理論上最大想定モデル地震の場合インフラ被害の想定は、想定はされていませんが、過去の地震の最大モデルでは、上水道では断水人口が約42,000人、下水道では約35,000人に機能障害がでます。また、停電は約24,000軒、固定電話は約5,600回線が不通となると想定されます。



問 避難場所と避難所の役割の違いは、避難場所は災害時に一時的に集まる施設で、避難所は災害時において、一定期間滞在できる施設であります。小中学校の体育館、総合体育館、サンアート、および三好高校の施設内が該当します。

問 道路に面した危険なブロック塀の撤去に助成しているが、なかなか進まない。補助率をあげるか撤去後の新しいフェンス設置などに助成する考えはないか。

答 補助内容は緊急輸送路又は指定通学路は撤去する費用または塀の長さ×1万円のうち、少ない額の3/5補助で限度額12万円、その他の公衆道路では、同様に1/2補助で限度額10万円となっています。また、撤去後の新しいフェンス設置等への助成については民有地緑化推進補助金制度を活用していただければと考えています。内容は延長1m当たり2本以上植栽し、設置費用または生垣の延長×3千円の少ない額の1/2で限度額10万円となっています。

学校図書館



岡本守直
(みよし未来の会)

問 AIの急速な発展により、将来生き残る仕事は何か。今話題になっている。AIとの峻別は「意味を理解すること」であり、子供たちには将来生き抜いて貰わねばなりません。読解力を養う指導力が求められるがどのようなか。

答 読解力は全ての学習の土台で、読解力を高められるような授業を行うことと感じています。国語科を中心とした毎日の授業の積み重ねにより読解力は高まると考えています。

問 学校図書館に古書が多く見受けられるが、速やかに時流に適合した図書に更新し読書環境の改善が必要である。

答 蔵書期間が30年以上は全体の5%です。刊行後時の経過とともに誤った情報記載の図書、破損等は学校図書館ガイドラインに則り更新を進めます。

介護保険制度



牧田充生
(日本共産党)

問 介護認定されている人数と介護施設に入れない待機者は何人か。

答 要支援1が218人、要支援2が196人、要介護1が278人、要介護2が191人、要介護3が137人、要介護4が130人、要介護5が100人の合計1,250人です。

答 市内の特別養護老人ホームは「安立荘」と「みよしの里」の2施設があり、待機者は115人です。

問 2つの施設の定員割れの原因と今後の解決策は。

答 2施設の最大の原因は介護職員の不足によるもので、入所出来ません。また、待機者解消のため、入所定員29人以下の地域密着型特別養護老人ホームの整備を計画して平成33年4月の開設を予定しております。

本市の農業政策

問 本市の食料自給率のカロリーベースと金額ベースはどうか。

答 カロリーベース食料自給率は9%で、金額ベース食料自給率は14%です。

問 本市の農業を守り振興させるために行っている事は何か。

答 研修施設の整備や農業用機械の導入を行い、農業後継者や新規就農者に施設生産技術、経営手法、農業機械操作等について研修を開始する予定です。国の補助メニューを緩和し、意欲ある担い手農業者に対する市単独の補助メニューを来年度から新設していきたいと考えております。



◎農業用機械

コロンバス市交換教員派遣制度

問 コロンバス市と友好都市提携し、はや23年もの長きになる。英語教育改革が始まり、2020年に小学校で英語教科化がおこなわれる。友好都市の縁を生かし日常的にネイティブと交流できる交換教員派遣制度の実施を求める。

答 交換派遣を行うにはハードルがいくつもあります、限られた教員派遣よりもコロンバスの来訪者との交流により英語を学ぶ方が有効です。教員研修とともにALTの活用を図っていきます。



◎友好都市コロンバス市との協定書

委員会活動報告

議会運営委員会

委員長：水野 隆市

「議会改革の推進に向けて」をテーマに意見交換会について視察してきました。

神奈川県 藤沢市 7月18日（水）

藤沢市は、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、老若男女を問わず多くの市民をお呼びし、誰もが気軽に話し合いのできるよう小さなグループに分けて意見交換をする「カフェトークふじさわ」を開催しています。毎年開催され、市民の意見は、市役所へ提言として提出されていました。



©鎌倉市

神奈川県 鎌倉市 7月19日（木）

鎌倉市では、市民と議員が意見交換を行う「オープンミーティング」を市内5か所で開催しています。小さなグループに分け、市民の方が気軽に発言できるのは、藤沢市に共通しています。オープンミーティングの他にも「議会報告会・意見聴取会」を別の時期に2会場で開催し、市の予算について議会で審議したことの報告と市民からのご意見をいただく場としていました。

地域交通対策特別委員会

委員長：小嶋 立夫

「地域交共交通」をテーマに利便性のよいワゴン車・エコカートによる運行について視察してきました。

福井県 坂井市 7月24日（火）

坂井市は、三国町、丸岡町、春江町、坂井町の4町が合併して誕生した面積の広い市です。このため、コミュニティバスのルートも町の中だけを回る接続ルートと町と町を結ぶ基幹ルートに分かれ、広い坂井市をくまなく回ることができます。また、交通量の少ない地域では、10人乗りのワゴン車で運行され、停留所以外の場所でも降車できるフリー降車制度が採用されています。このほか、高齢者の運転免許自主返納者に10年間の無料乗車券が交付されていました。



©「ぐるっと坂井」

石川県 輪島市 7月25日（水）

輪島市では、人口減少、少子高齢化等による利用者減により、バスなどの公共交通機関が衰退するなか、高齢者の生活の足の確保と観光地として観光客の利便性を図るため、商工会議所が中心となって、国内初のWA-MO（ワーモ）というエコカートが導入されていました。WA-MOは、ゴルフ場で使用されている電動カートがベースで改良され、将来は自動運転での走行が計画されています。

委員会活動報告

総務協働運営委員会

委員長：林 文夫

「市民協働によるまちづくり」について、みよし市の経緯と取組みの現状を確認しました。

- ・協働に向けた取組みとしてのコミュニティ再編の経緯
- ・市民参加型補助金

平成29年度から始まった「がんばる地域応援補助金」を活用した各事業の中間報告会に参加し、取組みの現状を確認しました。

現在は、市への提言に向け調査先と、みよし市の現状を比較検討し、本市への活かし方を議論しています。



文教厚生委員会

委員長：阿部 憲明

視察先：石川県 白山市・小松市

視察日：7月9日～10日

「地域共生社会の形成」を本年のテーマに掲げ、共生社会のまちづくりが進む石川県の白山市・小松市を視察してまいりました。

本市は、障がい者福祉・高齢者福祉・子育て支援が進む中、課題は支援がそれぞれに行われていることです。

視察先の両市は社会福祉法人「^{ぶっしえん}佛子園」により寺を改装して複合施設を開設していました。

この複合施設には、介護施設・障害者就労施設・小規模保育施設を備えており、また、健常者や地元の住民も活用できるように温泉・スポーツジム・レストラン・集会会室等を設け、地域のコミュニティの場としても活用されていました。

これからの社会は少子高齢化・生産人口が減少する中で、地域で生活する人々が、支え合い、補完しあえる、協働のまちづくりに取組んでいくことが大切であることを感じました。



経済建設委員会

委員長：渡邊 郁夫

9月定例会補正予算での経済建設委員会へ付託された、7ヶ所の現地調査を行いました。

河川整備事業では、茶屋川に掛かる橋りょうで、耐震基準の変更に伴う修正設計業務委託された八幡橋、八幡川橋（2橋）を確認し説明を受けました。当該場所では、1年4ヶ月程の間通行止めになることから迂回路での懸案事項について最善の配慮を求めました。

舗装修繕調査委託（市道三好明知下線）では、現状道路のたわみ計測方法の説明を受けました。現地調査を基に9月20日の委員会では活発な質疑、慎重な審査を行うことができました。



◎説明を受ける委員（八幡橋付近で）



みよし市議会

議会研修会を開催!



9月27日(木) 定例会閉会后、地方議会研究会の野村稔代表を講師に迎え「地方議会の改革と運営について」と題して、みよし市議会勉強会を実施しました。



主な内容として、議員のあり方としては一部の代表から全体の代表になること、また議会改革については、みよし市議会でも実施している閉会中の継続審査を議決し活動を活発に実施できるようにすること、さらに議会広報については追跡調査を行い、議会からの提言の予算反映や意見書の状況を掲載する等、議会運営について学ぶことができました。

次回定例会のご案内

平成30年第4回定例会の予定は次のとおりです。

会期	12月3日(月)～19日(水)
一般質問	12月5日(水)～6日(木)
議案質疑	12月10日(月)
【委員会】	
総務協働委員会	12月11日(火)
文教厚生委員会	12月12日(水)
経済建設委員会	12月13日(木)

本会議等の傍聴を希望される方で、手話通訳等の必要な方は7日前までに事務局にお申し出ください。

編集後記

みよし議会だよりきずなを手にとって読んでいただきありがとうございます。紙面に限りがあるため、今号は議決結果と一般質問記事に、議会ホームページのリンクQRコードを掲載しました。詳細はホームページでご覧になつただければと思います。

まだまだ改善すべき点も多いですが、今後も見やすくわかりやすい情報発信を心がけてまいります。議会広報広聴特別委員会委員一同



〒470-0295 愛知県みよし市三好町小坂50 TEL(0561)32-2111 (代) FAX(0561)34-4549
みよし市議会ホームページアドレス <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>
(市ホームページから市議会の欄をクリックしてください。)